

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023007028

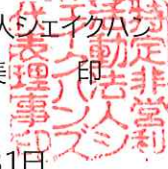
事業名:愛知県犬山市における「子ども第

団体名:特定非営利活動法人シエイクハシ

代表者名:代表者 松本里美

TEL:090-9940-2939

事業完了日:2024年3月31日



## ■契約時

事業費総額	:	8,340,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	8,340,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

## ■事業完了時

事業費総額	:	8,020,980 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	980 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	8,020,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	320,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.愛知県犬山市における「子ども第三の居場所」学習支援・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日  
(週4日以上(平日15時00分から21時まで開所、月・火・木・金で木は18時~21時予定)  
(2)場所:愛知県犬山市  
(3)対象者:25名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)  
(4)内容:「子ども第三の居場所」の居場所をつくり、子ども一人ひとりに寄り添った学習支援と、生活習慣の形成を行う。農作業や動物飼育、留学生との交流会等様々な活動や多様な人との出会い・関わりの中で非認知能力を高め、自己肯定感や向上心が育つような体験を提供する。

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1.愛知県犬山市における「子ども第三の居場所」学習支援・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日  
(週5日以上(平日15時00分から21時まで開所、月・火・水・木・金、木は18時~21時まで)  
(2)場所:愛知県犬山市  
(3)対象者:96名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に登録)  
(4)内容:「子ども第三の居場所」の居場所をつくり、子ども一人ひとりに寄り添った学習支援と、生活習慣の形成を行った。外国人生徒に対して、日本語学習の機会もつくった。様々な活動や多様な人との出会い・関わりの中で非認知能力を高め、自己肯定感や向上心が育つような体験を提供できた。農作業、山羊飼育、留学生と交流、一泊二日、二泊三日のキャンプ、大学見学、餅つき等。



#### (3)成功したこととその要因

①登録人数が予定を超えた続ける事については、学校での募集が有効だった事と、口コミでの申し込みが多く、また、すべてではないが、必要な子の場合、送迎ができた事。10年以上の子どもの支援活動がベースにあったこと。

②体験プログラムを多く用意できた事が子ども達には、何より楽しみだった。また、週2回の夕食の提供も、うれしく楽しい場になっているし、疲れている保護者の支援にもなったのでは、と感じている。

#### (4)失敗したこととその要因

学習支援も重視したので、参加人数が多く、その分指導者が足りない状態が続いたので、生活習慣支援が、簡単な調理、衣服のたたみ方、整理整頓等と限られてしまった。また、本当に支援の必要な子ども中心になっていたかどうかは、検証の必要があると、感じている。

#### (5)事業内容詳細

行政の担当課と相談し、総会時に第2部とし「子ども第三の居場所」報告会を6/18日に実施した。市長はじめ、市議会議員12名、関係課職員、地元関係者等が参加し、子ども第三の居場所の成果を発表でき、また、必要性も感じてもらえた。次年度も、6月に予定しているので、できればその資料を提出したい。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

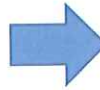
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を25名にする
- ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
- ・ボランティア等の地域住民や行政、学校との関係構築
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に4回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	680	文字数チェック	OK
<p>以下の仔細で、おおむね目標を多数の事が出来た。 ・2024年3月31日現在、登録参加者数は96名と多いが、一日の平均利用者数は23人。小学生だけの平均利用者は、20人を下回るのが現状。参加者は少しずつ増加してきたが、学校の欠席率も高く、特に外国ルーツの子は、保護者の理由で欠席も目立ち、保護者への啓蒙も考えながら、利用者の継続的参加を望みたい。 ・食事の提供は、かなりの頻度(毎週2回)で行っていて、食に関する生活習慣や食事づくり(食育)は、身につけてきた。野菜嫌いの子が多いが、自分たちで作った野菜への思いもあり、完食できる子が増えた。学習に関しては、宿題提出度も、昨年よりかなり上がって来ていて、家庭学習の習慣も付いてきている。 参加者は、毎日、学習・生活習慣、そして、遊びの中での仲間づくりで、安定した放課後の居場所が実現できている。結果</p>			



・農作業や体験活動を通して、地元の人々との顔の見える関係性ができ上がった。追々出云つても言葉がかけてもらい、子ども達は、地域の暖かな目を感じている。寺子屋(居場所)へのおやつ等の寄付や訪問する人が増え、地域の企業からの訪問も増えた。市議会議員や福祉協議会・行政、保健センターからの訪問も増えた。小中学校の訪問は、比較的少ないが、定期的に通訳や担当教諭との電話でのやり取りはできている。学区の地域協議会委員に代表理事が就任したので、連携は、今後もっと進むと思われる。

・定期的な農作業、多文化共生キャンプ、自然体験キャンプ、大学訪問、餅つき、食育活動、留学生との交流など、様々な体験がを6回以上、積むことが出来た。

### 3.事業実施によって得られた成果

・現在、年長から高校生年代まで、参加登録者96名、小学生61名で、1日の平均参加は、23人。この中にいる不登校やヤングケアラーに近い状態の子、多子家庭でしかもひとり親等、多重な困難を抱える兄弟等は、学校や地域で居場所がなく、自己肯定感が低い子が多いが、放課後を安心して過ごせる居場所では、学校を超えての友だちもでき、放課後を楽しく充実して過ごせる事で、生活への活力となっている。  
もっと確実に、この子達への支援に繋げるには、参加登録人数をこれ以上増やすのではなく、きめ細かく、個人に寄り添えるような居場所にする事が望まれる。次年度2024年度末までには、それらの子ども達をできるだけさまざまな社会的資源などと繋げて、地域全体で支援できるようになる事を目指したい。そのためには、保護者とも関係性を築き、信頼される居場所となるよう、努力していく。  
・地域の人や社会福祉協議会、福祉課、青少年問題協議会などから、参加の問い合わせや相談が、多く持ち込まれるようになり、犬山市での認知度は、かなり上がってきている状態。2025年度以降も、この事業が継続できるように、また、他のエリアでも「子ども第三の居場所」が開設がされるように、2024年度は、報告活動にも力を入れたい。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

- ①子ども達の家庭での生活を変えるには、保護者の意識を変えたいが、保護者との関係性を早く構築し、忙しく働く保護者との懇談の機会を持つ事が必要。
- ②ひとり一人の情報を共有し、寄り添うことが大切だが、現スタッフは、継続的にシフト制での勤務がほとんどなので、情報の共有が難しい。研修等への参加ももっと増やす事が必要。
- ③発達に凸凹のある子ども、グレーゾーンの子に寄り添える為、放課後児童デイサービスとの強い連携が必要。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記してください。  
完了報告書

#### (2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。  
完了報告書

募集チラシ 900枚  
多文化体験キャンプ募集チラシ 300枚  
多文化フェスティバル チラシ 200枚



#### (3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ [https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra\\_gui\\_01-1.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf) (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100070493921821>  
<https://shake-hands.jp/>